

2023年12月9(土)
13:30~16:00

第70回日本体育・スポーツ経営学会 研究集会
Japanese Society of Management for Physical Education and Sport

どうする!? 総合型クラブ

～総合型地域スポーツクラブの停滞を打破する!～

1. 開会あいさつ・趣旨説明

2. 研究報告

総合型地域スポーツクラブは成長しているのか? 衰退しているのか?

～成長・衰退の要因を探る～

柴田紘希(日本体育大学)

3. シンポジウム

総合型クラブはどこへ歩むのか ～これからの進む道を考える～

<シンポジスト・提案内容>

川邊保孝(東海大学) 「会員のWell-beingとスポーツライフの充実を考える」

西村貴之(金沢星稜大学) 「100年続くクラブに向けたクラブマネジャーの育成を考える」

行實鉄平(久留米大学) 「市民社会の実現に向けた地域社会や住民を巻き込む仕組みを考える」

<指定討論者> 渡邊優子 氏 (NPO法人希楽々理事長)

小田新紀 氏 (NPO法人幕別札内スポーツクラブクラブマネジャー)

<コーディネーター> 関根正敏(中央大学)

4. 総括・閉会あいさつ

参加方法

※申込締切：12月4日(月)

WEB申込み

下URLまたは右QRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/ZeAtxr6dZ5wqMz4G8>

なお、本学会HP(<https://jsmpes.jp/>)からも申し込み可能です。



開催方法

オンライン開催

(Zoom Webinars 使用)

※参加申し込みいただいた方に接続

情報をメールにて通知します。

参加費

無料

問い合わせ先

日本体育・スポーツ経営学会 第70回研究集会 事務局

担当: 川邊保孝(東海大学/アウトリーチ委員会)

E-mail kyl19082@tsc.u-tokai.ac.jp

どうする!?!総合型クラブ

～総合型地域スポーツクラブの停滞を打破する!!～

開催趣旨

総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）育成政策が始まってからすでに四半世紀が経過しています。当初、総合型地域スポーツクラブ政策は、「中央から地方へ」「官から民（市民）へ」という大きな政策的潮流の中、スポーツ振興基本計画から始まる国の体系的・計画的な生涯スポーツ政策の重要な柱として、スポーツ実施率の向上だけではなく、スポーツを通じた様々な社会的課題の解決、「新しい公共」の発露としての市民社会の実現、スポーツ基本法におけるスポーツ界の好循環のための主体育成といった様々な期待がなされてきました。

結果、全国で3500を超えるクラブが設立されましたが、クラブの創設数はここ10年ほぼ横ばいで推移し、ガバナンスや成果などの総合型クラブの「質」に対する厳しい指摘も相次ぐ中、第3期スポーツ基本計画においても総合型クラブへの政策的期待は極めて限定的な位置づけにとどまっています。また、実際のクラブ経営においてもCovid-19という社会的な危機における会員数の減少やクラブを支える人材の確保などの経営的な困難に直面し、まさに総合型クラブは大きな「停滞」を迎えているといってもよいでしょう。一方で、登録・認証制度の先にある各種ステイクホルダーとの協働による社会課題の解決や部活動の地域移行の主体としての役割など様々な期待が総合型クラブに向けられており、さらなる総合型クラブの発展は社会ならびにスポーツにとって必要不可欠です。

本学会は、当初から総合型クラブを日本の生涯スポーツならびにスポーツ自体のあり方を変える可能性のあるスポーツシステムとして、その在り方や役割について学会大会や研究集会を通じて議論をしてきました。この「停滞」を迎えている総合型クラブの現状に対し、その停滞を打破するための方向性を議論し示唆を導くことが本研究集会の趣旨です。内容としては、学術的な知見にもとづく研究報告に加えて、シンポジウムでは学会員である研究者が各種理論に基づいて総合型クラブが進むべき方向性を提示したうえで、著名な総合型クラブの実践者との間で総合型クラブの発展に向けた熱い議論を交わしていきます。参加者の皆さんも「どうする!?!総合型クラブ」を合言葉にぜひとも議論にご参加ください。

問い合わせ先

日本体育・スポーツ経営学会 第70回研究集会 事務局
担当：川邊保孝（東海大学／アウトリーチ委員会）
E-mail ky119082@tsc.u-tokai.ac.jp

